

## ● 10年前に始まった「地域医療構想」は今年どう変わったか

今年団塊の世代が全て75歳以上後期高齢者になる。この2025年に向け高齢化社会に対応した医療体制構築のため10年前の平成27年に「地域医療構想」が厚労省より発出された。従来の病院機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとに医療需要と病床必要量を推計し機能分化させるもので、各都道府県ごとに実現に向け策定するものであった。奈良県でも全病院を一堂に集め年1～2回意見交換会が開催されてきた。奈良県は以前から奈良方式で病院機能分化がなされており、意見交換は比較的スムーズであったと記憶する。この構想が始まった当時は病院機能によらず全国どの病院も同じような医療が行われていた。地域医療構想実現の裏には病院機能ごとに「病院再編」と「ダウンサイジング」という意味合いがあり、整理対象の病院名公表で騒然となったこともあった。

今年目標年度に至り現実はどう変わったか。高齢化社会の急速な進展により、今では急性期と慢性期の2つの病床機能分化よりも、「かかりつけ医療」「在宅医療」「医療・介護連携」など高齢者対応に重心が移されてきているように思われる。高齢者割合がピークとなる2040年の超高齢社会が直面する社会問題（2040年問題）を睨んだ医療体制の見直しが、今後の地域医療構想として継続されるのではないだろうか。

## ● 2040年問題：「社会保障制度の行詰り」「介護需要の増大と人材不足」「労働力不足」「経済全体の縮小」

2040年には65歳以上が35%、75歳以上が20%以上になり、15歳～64歳の生産年齢人口は53.9%まで低下すると予測されている。高齢者の増加で医療介護に関する社会保障費が増大する一方で、納税者は減少し社会保障制度に対する一人当たりの負担は増加せざるを得なくなる。制度の見直しや財源確保、公平な負担の分担などの改革が必要となるだろう。2040年には団塊の世代が全て85歳以上になり介護の需要が高まる一方で、今でも不足している介護の人材不足は急速に拡大する。加えて医療・介護、福祉などの公共サービスの需要も急増すると予測される。インフラの老朽化も社会問題化するなかで、生産年齢層の減少で、これに対応できない事態も社会問題化するだろう。急激な生産年齢層の減少で労働力不足が深刻化し、全体の生産性が低下して国内総生産GDPは低下、経済全体も縮小していく。こんな中で医療だけが特例であるはずがない。時代に応じて変化してゆかねばならないことは皆が承知している。ではどうする？

## ● 広域型病院と地域型病院（日病会）：断らない病院と面倒見のいい病院（奈良方式）

相澤孝夫日本病院会会長が2023年73回日本病院学会（仙台市）の会長講演で「広域型病院」と「地域型病院」という2つの新しい病院類型を提唱した。広域型は「治す医療」で地域型では対応できないものを入院とする。地域型は「治し支える医療」で地域における一般的な傷病を担い、かかりつけ機能を発揮するとしている。奈良県では高度急性期・急性期を扱う「断らない病院」と回復期・慢性期を扱う「面倒見のいい病院」に病院機能を分ける“奈良方式”が以前から存在する。奈良県ローカル呼称を全国版にしたものと考えられ合点がゆく。当院は奈良方式「面倒見のいい病院」で目指すところは地域型病院である。

## ● 「餅は餅屋」から「何でもそろうスーパーマーケット」への発想転換と新分野の開拓

今日まで当院は医療の質を急性期病院に追いつけ追い越せのスタンスでやってきた。しかし、救急から療養までフルスペックで全ての病院が横並びで行う必要はない。地域医療構想の目標年度になり、2040年問題も勘案し病院機能を見直すべき時と考えている。高度急性期医療を行うのは大学病院や医療センターなど広域型病院の「餅屋」で、当院が手出しすべき領域ではない。“餅は餅屋”の領域には手を出さず、地道に地域に根差した医療を愚直にやり続けることが、超高齢化社会での当院の役割と考え、地域型病院を目指すことにした。餅屋に対する「スーパーマーケット」である。デパートの様な高額なものは置いていないが、日常必要な物は何でもそろう。“そこに行けば何とかなる病院”への発想の転換である。患者目線では「コンビニ」でもある。臓器専門性での診療は餅屋の仕事、スーパーマーケットに必要なのは総合診療で、「全身を診てからの専門性」をモットーにしている。一方で今後需要が増大するであろう「かかりつけ医療」「在宅医療」「医療・介護連携」にも視野を広げ、医療依存度が高く病院介入が必要な入所者を扱う高齢者住宅を2年前から併設し“病院型在宅”を展開している。発想の転換と新しい在宅医療分野の開拓、これでこの先の訪れるであろう難局を乗り越えたいと考えている。

### 【参考資料】

第1回医療政策研修会、第1回地域医療構想アドバイザー会議資料「地域医療構想について」：厚労省医政局地域医療計画課、令和2年10月9日  
第110回社会保障審議会医療部会資料「新たな地域医療構想の検討状況について」：厚労省、令和6年9月5日